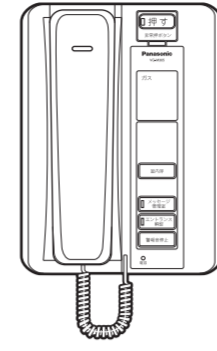


# 5.取付について



## 1.安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

<b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
<b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

### 警告

工事は販売店に依頼する。

工には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

●必ず販売店にご依頼ください。

指定以外の端子に電源 (AC 100 V) を接続しない。

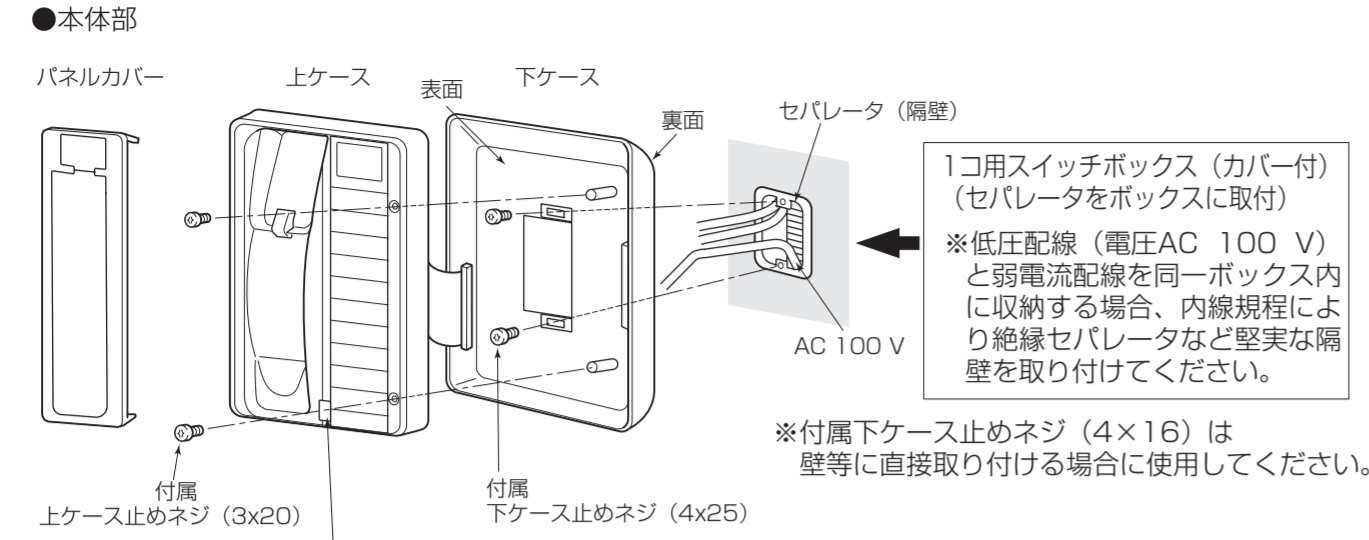
ショートして火災や感電、故障の原因になります。

禁止

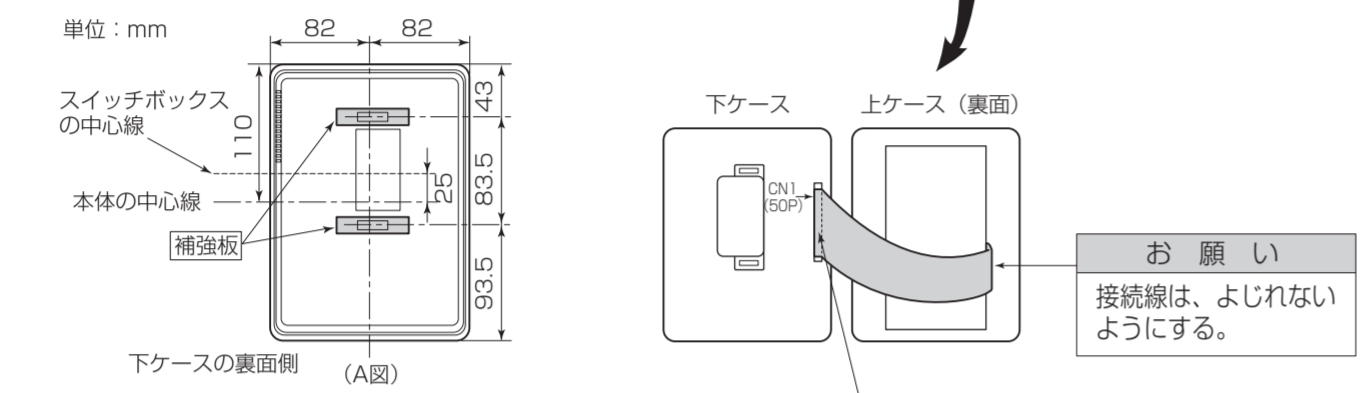
電源電圧 (AC 100 V) 直結端子の所に指定以外の電圧 (例AC 200 V) を接続しない。

指定以外の電圧や電源で使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

禁止



- ※付属下ケース止めネジ (4×16) は壁等に直接取り付ける場合に使用してください。
- ※付属上ケース止めネジ (3×20) は壁等に直接取り付ける場合に使用してください。
- (例) 1コ用スイッチボックスに取り付ける場合
- 1コ用スイッチボックスが壁面より沈んで取り付いている場合のみ、下ケースの裏面に付属の補強板 (厚み1.6) を貼り付ける。(A図参照)
  - 下ケースを1コ用スイッチボックスに取り付ける。
  - 配線材を下ケースの端子に結線する。(誤接続しないこと)
  - 結線後、余った線はスイッチボックスの中に押し込み、配線材が浮き上がらないようにする。
  - 本体部の接続コネクタを、下ケース部のコネクタ-CN1 (50P) に差し込み、「接続手順」に従って確実に接続する。



品名	員数
1Aヒューズ (XBA1C10NS5)	2
2Aヒューズ (XBA1C20NS5)	1
本体部 (上ケース) 止めネジ (XTN3P20GFX)	2
本体部 (下ケース) 止めネジ (XTN4P16AFX)	2
本体部 (下ケース) 止めネジ (XSB4P25FX)	2
補強板 (厚み1.6、スイッチボックス取付時)	2
パリエーションシート	4
取扱説明書	1
工事説明書 (本書)	1
保証書	1
ロックピース	5

<b>禁止</b> 正常に発報できない原因になります。	<b>禁止</b> 正常に発報できない原因になります。	<b>禁止</b> 誤報や故障の原因になります。
<b>禁止</b> セキユリテ機器の検知器は、燃焼したガスが外気で薄められる場所に置かれない。	<b>禁止</b> セキユリテ機器の検知器は、燃焼したガスが流通しにくい場所に置かれない。	<b>禁止</b> セキユリテ機器の検知器は、燃焼したガスが流通しにくい場所に置かれない。
<b>禁止</b> 配線劣化により、感電の原因になります。	<b>注意</b> 機器からの輻射ノイズにより悪影響をあたえないようにしてください。	<b>禁止</b> 電磁波の輻射ノイズにより、故障や誤動作の原因になります。
<b>禁止</b> 土中埋設配線する場合は、保護管を使用し、土中での結線はしない。	<b>注意</b> 高周波ミシン、電気溶接機など電磁波発生源のある場所に置かない。	<b>禁止</b> 高周波ミシン、電気溶接機など電磁波発生源のある場所に置かない。
<b>禁止</b> 故障の原因になります。	<b>禁止</b> 雑音の発生や故障の原因になります。	<b>禁止</b> 感電や火災の原因になります。
<b>禁止</b> 炭酸水素、リン、アンモニウム、硫酸などの発生する場所には置かない。	<b>禁止</b> 磁石などの磁気を帯びたものの近くに置かない。	<b>禁止</b> 水や薬品のかかる場所に置かない。
<b>禁止</b> 機器表面が変形・劣化するほか、故障の原因になります。	<b>禁止</b> 火災や感電、故障の原因になります。	<b>禁止</b> 破損や故障の原因になります。
<b>注意</b> 直射日光、暖房設備、ボイラーなどの特に温度の上がる場所に置かない。	<b>禁止</b> 湿気やホコリの多い場所に設置しない。	<b>禁止</b> 振動・衝撃のある場所に設置しない。

### 注意

<b>注意</b> 落下によりけがの原因になります。	<b>禁止</b> 指定以外の端子に電源 (AC 100 V) を接続しない。	<b>注意</b> 高所設備 (2 m以上) の取付時、必ず安全装置を使用する。
<b>禁止</b> 火災や感電の原因になります。	<b>禁止</b> 指定以外の端子に電源 (AC 100 V) を接続しない。	<b>注意</b> 屋外配線は、雷サージ保護の保護器を使用する。
<b>注意</b> 分解禁止 火災や感電の原因になります。	<b>禁止</b> 指定以外の端子に電源 (AC 100 V) を接続しない。	<b>注意</b> 屋外配線は、雷サージ保護の保護器を使用する。
<b>注意</b> ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になります。	<b>禁止</b> 指定以外の端子に電源 (AC 100 V) を接続しない。	<b>注意</b> 屋外配線は、雷サージ保護の保護器を使用する。
<b>注意</b> ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になります。	<b>禁止</b> 指定以外の端子に電源 (AC 100 V) を接続しない。	<b>注意</b> 屋外配線は、雷サージ保護の保護器を使用する。
<b>注意</b> ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になります。	<b>禁止</b> 指定以外の端子に電源 (AC 100 V) を接続しない。	<b>注意</b> 屋外配線は、雷サージ保護の保護器を使用する。
<b>注意</b> ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になります。	<b>禁止</b> 指定以外の端子に電源 (AC 100 V) を接続しない。	<b>注意</b> 屋外配線は、雷サージ保護の保護器を使用する。
<b>注意</b> ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になります。	<b>禁止</b> 指定以外の端子に電源 (AC 100 V) を接続しない。	<b>注意</b> 屋外配線は、雷サージ保護の保護器を使用する。
<b>注意</b> ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になります。	<b>禁止</b> 指定以外の端子に電源 (AC 100 V) を接続しない。	<b>注意</b> 屋外配線は、雷サージ保護の保護器を使用する。
<b>注意</b> ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になります。	<b>禁止</b> 指定以外の端子に電源 (AC 100 V) を接続しない。	<b>注意</b> 屋外配線は、雷サージ保護の保護器を使用する。

### 警告

## 2.工事について

●配線工事及び機器取付工事には下記の資格が必要です。  
電気配線工事…「電気工事士」

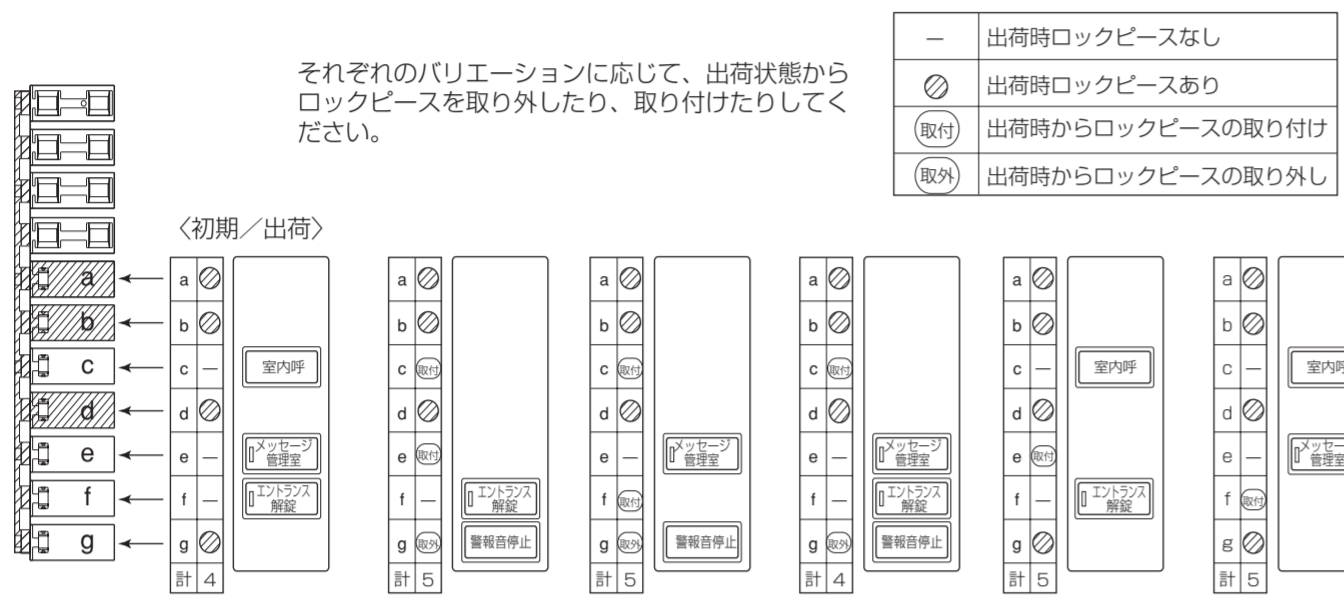
※商品同梱の取扱説明書を併用願います。

- AC 100 V以上の電力線と各センサー、付属機器間の配線は別配管工事とするか、配管工事しない時は電力線から、1 m以上離して配線してください。
- この商品は他のHA機器（セキュリティユニット、留守録ユニット、電灯線HAなど）と系統的に接続できません。
- 日本国外で設置し、使用することはできません。

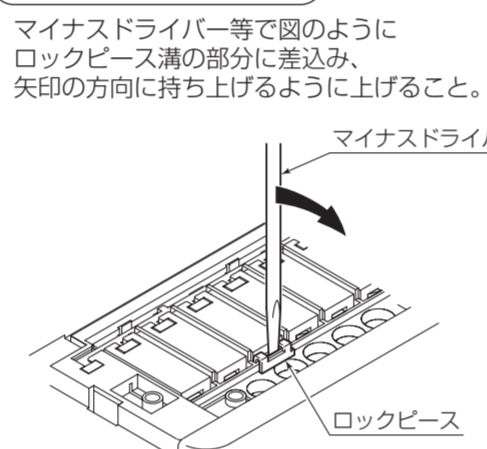
### ■概要・特長

本装置は、セキュリティ機能（ガスもれ・非常など）以外に下記特長を有する集合住宅用室内親機です。  
・住戸番号の自動登録タイプ（室内親機での登録と同時に制御装置に登録される）のため、制御装置側のプログラムボードによる住戸番号の設定は不要です。  
・ガスもれ検知器の接続を2端子化（有電圧／無電圧出力タイプにより接続端子変更は不要）。

### ■ロックピース取付仕様



### ■ロックピース取り外し方



## 3-3 適応センサー一覧

品名	品番または機能		メーカー	備考
ガスもれ検知器	ヘッド SH13837 有電圧出力タイプ	ベース SH5900	松下電工（株）製	
	SH13827 無電圧出力タイプ	SH5900		

## 3-4 許容配線距離

線種	配線数	端子名	0.9φ	1.2φ	許容抵抗ループ	備考
本体～センサー	2	G1 G2	125 m		10 Ω	・有電圧出力タイプは1個のみ ・有電圧出力タイプと無電圧出力タイプの併用は不可
本体～戸外表示付 玄関子機	4	D1 D2 DL DF	250 m		20 Ω	耐熱電線 ・取付ボックスは、大型または中型四角 アウトレットボックスH54深型
本体～制御装置	6	CL1 CL2 LA1 LA2 LB1 LB2	1 000 m (総配線長)		60 Ω	CPEV-S（シールドペア線）

## 3-5 ガスもれ検知器の接続について

本体に電源（AC 100 V）を供給しないで設定してください。

初期設定  
①パネルカバーをはずして（5.取付についてを参照）「検知器切換スイッチ」をガスもれ検知器のタイプ（有電圧出力／無電圧出力）側に設定する。  
・有電圧出力タイプの場合はスイッチを上側に切替える。  
・ガスもれ検知器を接続しない時はスイッチの操作はしない。（スイッチは下側のまま）  
②設定後、パネルカバーを取り付ける。

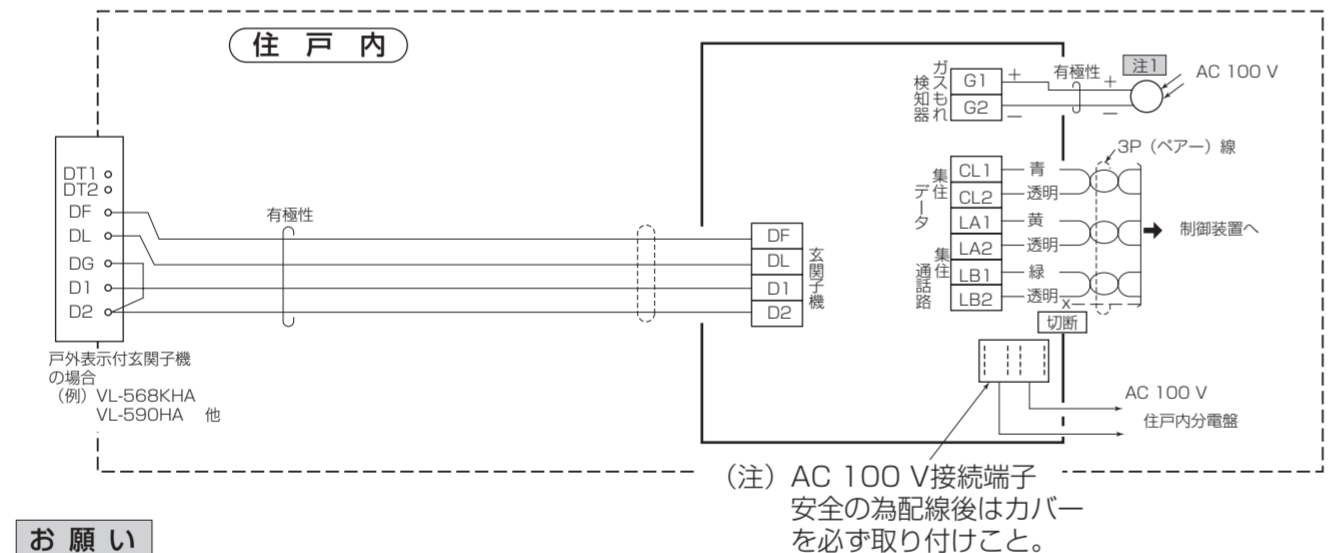
工事手順  
① 住戸の電源ブレーカーのOFFを確認する。  
② 下図の接続方法に従ってタイプに応じてガスもれ検知器を接続する。  
③ ガスもれ検知器にAC 100 Vを給電する。  
④ 本体にAC 100 Vを給電する。  
⑤ 有電圧出力タイプを接続した場合は断線警報が出ないことを確認すること。  
警報（ピー連続音、ガスもれ表示灯点灯）が出る場合、  
・ガスもれ検知器の故障  
・検知器ヘッドの未装着  
・ガスもれ検知器にAC 100 Vが給電されていない  
・ガスもれ検知器と本体間の配線断線  
が考えられるので修復する。また警報がない場合は、上の原因で警報が出ることを確認すること。

接続方法  
有電圧出力タイプ  
無電圧出力タイプ

発報テスト  
① ガスもれ検知器の付属用ガスまたはガスライターで検知器にガスを注入する。  
② ガスもれ検知器鳴動後も継続してガスを注入する。  
③ 約40秒後、本体から警報音、警報表示ランプが鳴動、点滅する。  
④ 本体鳴動後も継続してガスを注入する。  
⑤ 本体鳴動後約15秒後、戸外表示付玄関子機の警報音が鳴動、警報ランプが点滅することを確認する。

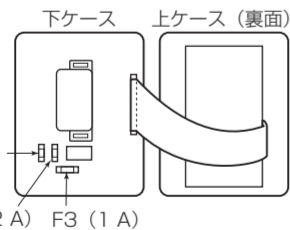
## 3.接続のしかた

### 3-1 配線接続図



### お願い

- 注1 ガスもれ検知器の無電圧出力タイプも接続できます。ただし併用はできません。詳細は、3-5「ガスもれ検知器の接続について」を参照願います。  
注2 ヒューズの交換：外部端子の短絡などでヒューズが熔断した場合、AC電源の供給を止め、ヒューズカバーをはずし添付の指定ヒューズと交換してください。（表1）



F1	2 A小型円筒ヒューズ	AC 100 Vの 保護用
F2	1 A小型円筒ヒューズ	
F3	1 A小型円筒ヒューズ	

注3 他の機器との接続方法は、3-2「各種接続可能機器の接続について」を参照願います。

### 3-2 各種接続可能機器の接続について

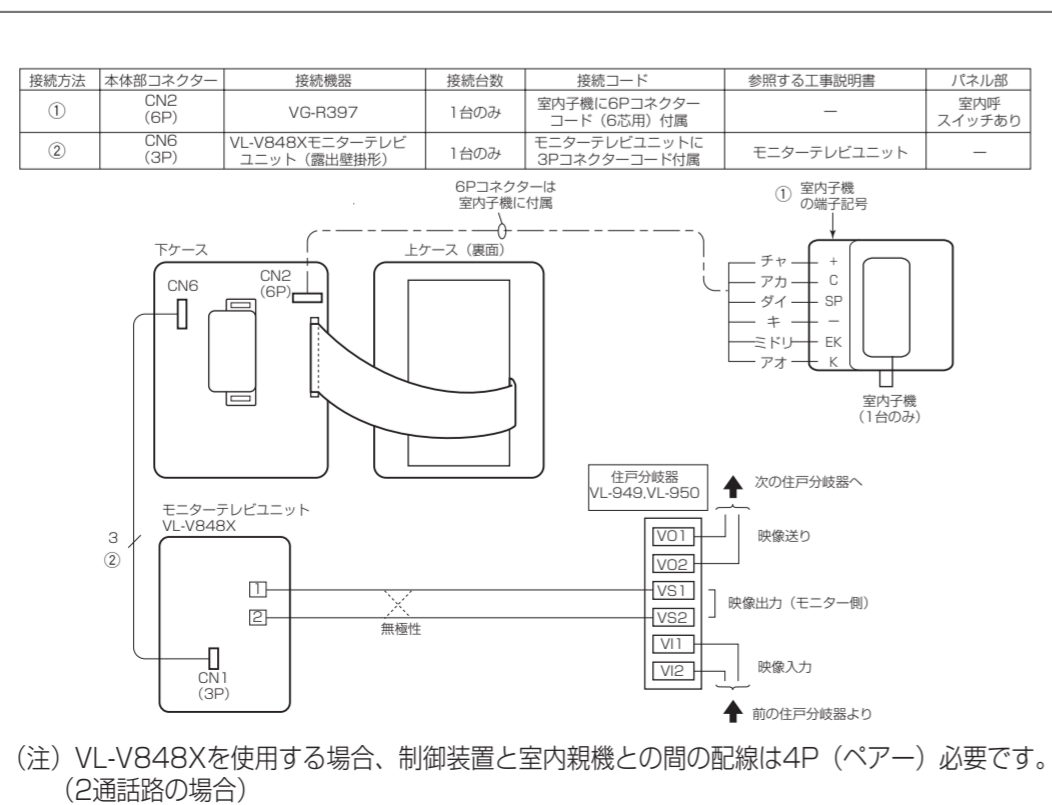
#### 接続接続端子の結線方法

#### 線材を挿入する場合

- 線材0.9φを9 mm被フクをむく
- 線材を確実に挿入する

#### 線材を抜く場合

- ドライバーの先などでA部を押し込みながら線材を引き抜く
- （ドライバーは制御装置に付属）

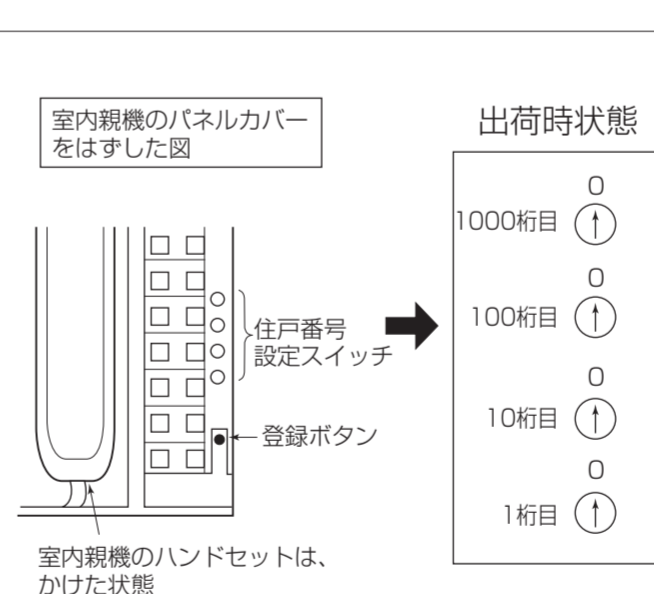


## 4 住戸番号の設定について

- 住戸番号は、物件の配線系統図または施工図を参考にして、「登録設定の条件」が整えば、室内親機の住戸番号設定スイッチを制御装置に付属の⊖ドライバーなどで確実に設定してください。
- 住戸番号は基本的に、室内親機側の自動登録方法で登録設定します。（詳細は、制御装置に同梱の工事説明書を参照）

自動登録方式は、室内親機側にある、住戸番号設定スイッチと登録ボタンにより、住戸番号を自動的に室内親機側と制御装置側（若い住戸番号順に並べ）に登録されます。（制御装置のプログラムボードの設定モードが運用側の場合のみ住戸番号は登録されます。）

### ■住戸番号設定スイッチの位置



### ■住戸番号の自動登録に必要な登録設定の条件

- 室内親機と制御装置間の接続配線完了。
- 制御装置のプログラムボードの設定モードが運用側。
- 室内親機のハンドセットは、かけた状態。
- セキュリティ機能が作動していない状態。

### ■住戸番号の自動登録方法

